

この地球で、
どのように生きるのか



国立科学博物館 × 総合地球環境学研究所
共同企画展

研究の現場から
地球の未来を問う

What Shall We Humans Do?
Rethinking earth's future
from research on the ground

07.31 FRI → 09.23 WED

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室および中央ホール
NATIONAL MUSEUM OF NATURE AND SCIENCE (UENO PARK, TOKYO)

開館時間／ 9時～17時 ※8/9(日)～8/15(土)は18時まで ※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日／ 9月7日(月)・9月14日(月)

入館料／ 一般・大学生630円(団体510円)(税込)

※常設展示入館料のみでございました。※団体は20名以上。

※高校生以下および65歳以上は無料。

主催／ 国立科学博物館、総合地球環境学研究所

お問い合わせ／ TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898

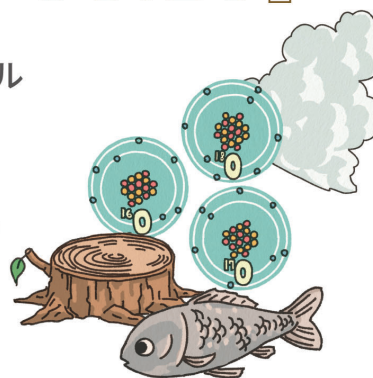
<https://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所



どうする、 ニンゲン

研究の現場から地球の未来を問う

—わたしたちニンゲンは、この地球でどのように生きるのか

地球環境をめぐる問題は、自然だけでなく、人間の社会や文化とも深く関わっています。

総合地球環境学研究所（地球研）では、地球環境問題を人と自然の関係はどうあるべきか、という「人の生き方」の問題ととらえ、解決の糸口を探ってきました。本展では、その研究事例や活動を紹介します。人と地球の関係についてあらためて考えてみませんか。

1 章 気づく

人と自然の関わりを ふりかえる

暮らしの中で使うもの、食べるもの、住むところなど、わたしたちは日々のあらゆる場面で自然とつながっています。そんな「人と自然のつながり」のあいだで生じている地球環境問題の根源をみてみましょう。



食材はどこからきている？



大気汚染はだれの問題？

2 章 とらえなおす

つながりからみえる 解決へのてがかり

わたしたちと自然の関わりは複雑で、環境問題の解決は困難にも思えます。研究者たちは、問題解決に向け、分野をこえて「人と自然のつながり」をとらえなおしてきました。暮らしと海、社会と気候変動、地域と生きもの、それらのつながりをてがかりに、自然との向き合い方を探りましょう。



暮らしと海の変遷をたどる
プロジェクションマッピング！？



昔の人々も対峙した気候変動！？

3 章 問いつづける

わたしたちは どう生きるのか？

一人ひとりができることは小さなことかもしれませんが、それでも、世界各地で環境問題の現場に生きるわたしたちニンゲンは、工夫をこらして解決のための新しい価値観と生き方を創りだしています。地球環境問題は、わたしたちの未来に深く関わりつなっています。

今、わたしたち自身がどう生きるかを考えてみませんか。



どのようにしたら？



トイレと環境問題？

中央ホール

問いの森

ここでは、研究者とお話ししたり、自分の考えを書いたり、思いを巡らせたりしながら過ごすことができます。この試みは、社会のさまざまな人々と研究者が一緒になって問題に取り組む「超学際研究」の一端です。地球に暮らすニンゲンとして、ともに考えていきませんか。



関連 イベント

研究者トーク・ワークショップ 「あつまれ、ニンゲン」

〔事前申込・抽選制〕

もっと深く展示を楽しみたい方へ。

各章の研究者が、展示の背景にある問いや研究のストーリーを語るトーク、ワークショップなどをを行います。

対話の縁側「かたろう、ニンゲン」

場所：日本館1階 中央ホール

期間中、さまざまな分野の地球研研究者が滞在します。展示のこと。生活のこと。環境のこと。“縁側でひと休み”がてら、研究者と気軽に語り合ってみませんか？

詳細・お申込



アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL : 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX : 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

